

令和 7 年度 第 1 回 地域連携推進会議 議事録

1. 日時

令和 8 年 3 月 26 日（木） 13:00 ～ 14:30

2. 場所

グループホームくう 共有スペース

3. 出席者（計 6 名）

■ 構成員

- ・利用者（1 名）
- ・利用者家族（1 名）
- ・地域の関係者（1 名）
- ・福祉に知見のある人（社会福祉法人 管理者 1 名）

■ 施設側

- ・管理者、サービス管理責任者（計 2 名）

4. 議事内容

(1) 地域連携・外部評価の取り組み報告

運営の透明性を高め支援の質を確保するため、「外部の目」を取り入れる一環として、柏原市障害者自立支援協議会こども部会が主催する「2025 年度 事業所等見学会」の受け入れを行った。本見学会は、柏原市内における障害児と関係のある機関や事業所が互いの事業所等を見学・交流することで、連携や協働をより円滑に進めることを目的として開催されたものであり、以下の施設見学実績を報告した。

- ・令和 8 年 2 月 10 日：社会福祉法人なにわの里様
令和 8 年 2 月 10 日：重心型放課後等デイサービス TOMODACHI 柏原様
- ・令和 8 年 2 月 25 日：大阪府藤井寺保健所 地域保健課様
- ・報告の要旨：今後も外部機関との繋がりを活かし、質の向上を追求する。

(2) 施設運営の透明性と質の確保

- ・日常生活の報告：利用者様の日中活動（柏原市内外の生活介護事業所への通所状況）や、ホーム内での具体的な生活支援体制について情報を共有した。
- ・BCP（事業継続計画）の策定：災害時の避難シミュレーションや備蓄品の確保状況を説明。医療的ケアが必要な利用者様が居ることから、電源確保を第一に保健所等の助言を踏まえ、より実効性の高い計画への更新を検討中である。

(3) 利用者の権利擁護と意思決定支援

- ・虐待防止・事故防止：今のところヒヤリハット事例は 1 例しかないが、医療的ケアが必要な利用者様の事例を提示し、必要な配慮への理解を深めていただいた。
- ・身辺自立を目指す短期入所プログラムの紹介：
短期入所の利用者に対しても、将来的な自立や自宅生活の継続を見据えた「意思決定支援」に基づき、以下のプログラムを実施している。

- 。環境の構造化：視覚的に分かりやすいスケジュール提示や、時間管理、絵カードにより、過度な介助を減らし「自分でできる」自信を育む環境設定を行っている。

5. 質疑応答・意見交換（要旨）

- ・福祉に知見のある人：専門機関が頻繁に見学に訪れていることは、運営が閉鎖的にならず透明性が保たれている証であり、非常に心強い。
- ・地域の関係者：短期入所でも「自立」という目標を持って関わっている姿勢に感銘を受けた。
- ・施設側回答：外部からの気づきを「セルフチェック」の鏡とし、常にかかれた運営を継続していく。

6. 施設見学（地域連携推進員の訪問）

会議後、構成員が「地域連携推進員」として居室および共有部を訪問した。医療的ケア用のバーストレッチャーや、短期入所者が自立して過ごせるよう工夫されたタイムスケジュールや利用風景の写真などを確認いただいた。戸建て住宅という家庭的な環境の中で、利用者がリラックスして過ごしていることを確認して頂けた。

7. 議事録の公表について

本議事録の概要は、地域連携推進会議の目的達成のため、事業所内への掲示および関係者への配布を行い、広く公表する。

以上